



決めるところでバシッと決める



8月5日(金)に近澤瞳選手(LEONバレーボールクラブ)が、和歌山県で開催される第25回全国ヤングバレーボールクラブ男女優勝大会への出場を報告するために森島恵照教育長を訪問しました。

近澤選手は「全国大会は緊張で体が思うように動かなくなるときがありますが、チームの合い言葉である“笑顔で楽しく元気に”を胸に、楽しんでプレーしたいです。また、獅子搏兔の精神を大切にして、どんな些細なことにも全力で取り組んでいます。本当にバレーが大好きで、特にスパイクが得意なので、大会でもスパイカーとして点を取りたいです」と意気込みを話しました。

通学路の安全を確保するために



各地区の通学路などに存在する危険箇所において『通学路交通安全プログラム』に基づき、学校、こども園・保育園、保護者(学校PTA)、区長、町教育委員会教育総務課、町建設課、町子ども課、大垣土木事務所、養老警察署、養老地区交通安全協会、シルバー警備隊が集まり、通学路の合同点検を行いました。

8月3日(水)に東部中学校、笠郷小学校、船附こども園、下笠保育園、4日(木)に池辺小学校と池辺こども園において実施しました。実際に通学路上の危険箇所の現状を確認し、なにが原因で危険なのか、どのような対策を取る必要があるのかを協議しました。

攻めて勝ち取った全国2位！



8月29日(月)に三輪楓華選手(はしまモア)が、三重県で開催される第8回全国小学生フェンシング選手権大会への出場を大橋孝町長へ報告しました。

三輪選手は「練習の成果を発揮できるように落ち着いて試合に臨みたいです。攻めに自信があるので、先に仕掛けて自分のイメージ通りに試合を進め、優勝したいです。将来はオリンピックに出場できるような選手になりたいです」と将来への抱負を話しました。町長は「優勝して笑顔で報告に来てくれることを大いに期待しています」とエールを送りました。

9月13日(火)には、この大会の結果が準優勝であったことを町長に報告し、全国で2位になった喜びと、惜しくも優勝を逃してしまった悔しさを話してくれました。

チームプレーで勝利を掴む



8月10日(水)に大橋稟選手(岐阜RISE)が、大阪府で開催される第22回全日本中学生男女ソフトボール大会への出場を報告するために大橋孝町長を訪問しました。

大橋選手は「県大会で優勝し、県代表として全国大会へ出場できることがとても嬉しいです。喜びを共有できることがソフトボールの一番の魅力です。チームのために繋ぐバッティングをし、このメンバーでの最後の大会を悔いの無いように挑みたいです」と大会への思いを話しました。

町長は「全国大会でもいい結果を残して、また報告にきてくれることを楽しみにしています」と激励しました。